

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月30日

事業所名 児童発達支援 翔 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1フロアをフルに活用	運動スペースが狭いため、障がい者センターや公園など外出することを増やしています
	2	職員の配置数は適切である	○			重度の児童が多いため、余裕のある職員配置に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		重度の方の2階への移動はキャリーを使用	2階へ移動への方法、キャリーからもっと安全性の有るものへの配慮をすること、発達障害の特性を理解し安全面での配慮に努めます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		手洗い、うがい等生活習慣の定着	おもちゃや生活空間の消毒毎日行っているが、整理整頓と清掃にも留意
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務前、終了後に必ず改善を図る	スタッフ全員で課題について話し合い、改善していく様努める
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		直接保護者から意向等確認している	保護者や、スタッフと話し合い業務の改善と事業所の評価が上がるように努めています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで情報公開しています。保護者様にも連絡し確認していただけるように連絡をしています	評価を通じてより良い結果になるよう努めてまいります
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者委員会は行っていない	保護者、支援センター、学校、病院等、色々な業種との業務連携を図る
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		市内、府内の研修に参加	専門的なスキルを養う為、時間が許す限り、色々な研修に参加している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		基本情報も含め、発達の状況などアセスメントしている	事業所での様子、学校・家での様子も聞き取り、支援計画を作成する様努めています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所での行動観察を客観的に評価分析しています	アセスメントツールを活用できるように努めます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		問題点ばかりではなく、良いところ、得意な物事をもっと伸ばしてあげようと、そこに目を向けている。	一人ひとりのニーズに応じて可能な限り具体的な支援項目の設定に努めます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			療育を通じて個別的配慮に努める
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			支援目標の共通の理解をし、支援の改善に活かせる様チームで行える様努める
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	外出等もプログラムに入れる	その日の利用者の状況に応じて臨機応変に対応できる様にしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			他の事業所や学校での活動を考慮しより細かい支援計画を作成する様努めています

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	毎日送迎の関係で時差があるのでニッポー等で1日の様子を記入していくべき	日報は毎日連絡帳をもとに記入しています。送迎、支援内容を確認し欠席者の確認をし、伝達事項に漏れがないか確認している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	送迎の関係で時差があるので、日報名など一日の様子をか	何でも気付いた事を言える様に他の話題等も自由に話せる時間を設けている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳を共有している	日誌を見て振り返り、問題点があれば話し合い、支援の改善に努めている
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			成長の発達や、他の環境の変化に応じて柔軟に対応しているが、より良い支援の為、関係機関との連携を一層深めていく様努めます
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発か管理者、児童指導員が参加	サービス担当者会議を通じて担当者間の密な連携と情報交換に努めている
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			関係する機関と連携し情報を得て支援に活かす様努めます
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育との連携体制に留意していきます
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	かかりつけ医を把握している	看護師を配置し主治医より指示書を出して頂きそれに沿った支援をしています
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保育園や幼稚園入園前の機関などの連携に努めます
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		関係機関と連携し、情報収集に努めていきます
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			相談員や他事業所から情報や助言を受けています
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	保育所の周りを散歩している	保育所や子ども園、幼稚園との交流や一緒に活動する機会を作ります
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者、児発管が参加している	協議会で情報を得ると共に今後の課題等について情報収集する様に努めていきます
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		グループlineで共有している	連絡帳や、保護者に送迎時、直接お会いした時やイベント、行事などに参加して頂いた時に伝えている
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		家族支援ペアレントトレーニングの支援を行える様努める
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面と口頭で説明	加算等の負担費やおやつ代等、送迎加算や延長についてより解りやすいように説明していきます
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			面談などで支援計画の内容を確認し保護者に説明して必ず同意を得るようになっています。状況の変化等に応じて変更できることを丁寧に説明する様に努めていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別で相談に応じています	他、学校関係者や病院関係者、相談員と協力し支援していけるように努めます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会は現在存在していないが、今後視野に入れて支援する様努めます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情や相談担当者を決めて対応している	苦情や相談があれば早目の対応ができる様職員間で報告、連絡、相談体制をとっている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	学校である学級通信を月1で発行すると良いのでは？	会報等は発行していないが、イベントや行事の際に活動概要は伝えている。今後は翔通信も予定している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		保護条例に基づき注意している	定期的に法人の規約や条例を再確認する様努めている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			利用者、保護者とのコミュニケーションを大切に支援の充実を図る
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		参加し交流している	こちらのイベントにも参加してもらえる様、年に2回は招待している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		ホームページで情報公開しています。保護者様にも連絡し確認していただけるように連絡をしています	より一層、防犯マニュアルについては解りやすいマニュアルを作成し直し特に重要な事は職員や保護者に周知徹底していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に数回、各場面の避難訓練は実施している	消防署などに助言してもらいながら、市の指定の避難場所への避難訓練を行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		初回面談時に聞き取りをしている	看護師や職員にも確認してもらい定期的に更新しています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		毎回、保護者に確認している	アレルギーのある子どもには医師の指示書とマニュアル通り対応します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		何かあるとすぐに情報共有し改善につとめている	最大の注意を払い事例を文書化して記録に残しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		市や府内の研修に参加している	一人一人の障がいの特性を理解し人権に関する意識の向上を図り研修を受ける
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		毎回、これはこうそくか？と職員間で話し合っている	該当者はいませんが、保護者と連携を図り身体拘束についての理解を深めていきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。